

編集にあたって

ステークホルダーの皆さまとの対話をめざして

当社では、ステークホルダーの皆さまに、財務情報や事業戦略などの経営内容を総合的に
お伝えるツールとして「アニュアルレポート」、サステナビリティ経営を強化するためのESG
の取り組みをお伝えるツールとして、「サステナビリティレポート」を発行してきました。

近年、企業の将来を洞察するために、理念やビジネスモデル、ガバナンスや事業の機会・
リスクなどを開示する重要性が高まってきたため、2023年度は財務情報と非財務情報を
統合開示する報告書として「統合報告書2023」を発行しました。

統合報告書は、機関投資家や株主など資本提供者の方々のみならず広くステークホル
ダーとの対話・理解の鍵となるものです。そのため、当社が経済、環境、社会に与えるイン
パクトが著しく大きいと考えられ、ステークホルダーの評価や意思決定に対して実質的な
影響を及ぼす可能性がある項目をマテリアリティ(重要課題)と位置づけたうえで、当社の
価値創造をプロセス化し、中長期目線でストーリー立てて構成に落とし込みました。

企業としての価値を改めて体系化・言語化して情報開示していくことにより、ステーク
ホルダーの皆さまとの関係深化を図り、今後も社会からより評価を獲得できる統合報告書
をめざしています。今回の「統合報告書2023」はその出発点となるものであり、ぜひ多くの
方々にご高覧いただきたいと考えています。

編集方針

対象期間
2022年1月～2022年12月
※一部対象期間外の情報も掲載

対象範囲
TOYO TIRE株式会社及び国内外の
グループ会社(連結子会社)

本報告書における組織呼称
TOYO TIRE株式会社単体→
「TOYO TIRE株式会社」または「当社」
グループ全体→
「TOYO TIRE」または「当社グループ」

参照ガイドライン等

- 国際統合報告協議会(IIRC)「国際統合報告フレームワーク」
- 経済産業省「価値協創ガイダンス」
- Global Reporting Initiative
「GRIサステナビリティ・レポート・スタンダード」

将来の見通しに関する記述について
本報告書には、将来の業績に関する記述が含まれています。こう
した記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確
実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化など
により、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。

Contents

- 1 編集にあたって
- 2 目次

Introduction

- 3 私たちの理念
- 7 成長の軌跡
- 9 At a glance

Top Message

- 11 TOP MESSAGE



Vision

- 17 外部環境・リスクと機会
- 19 TOYO TIRE のマテリアリティ
- 21 価値創造プロセス
- 23 TOYO TIRE の強み

Strategy

- 25 財務戦略
- 27 中期経営計画「中計'21」の進捗
- 29 事業概況
- 31 財務ハイライト
- 32 非財務ハイライト

Materiality

- 33 領域Ⅰ 価値創出
- 39 領域Ⅱ 価値創出を支える基盤
- 43 領域Ⅲ リスクマネジメント

Governance

- 51 ガバナンス
- 54 会長メッセージ



- 55 社外取締役メッセージ
- 59 役員一覧

Data

- 61 財務一覧サマリー(11カ年)
- 63 連結貸借対照表
- 65 連結損益計算書／連結包括利益計算書
- 66 連結キャッシュ・フロー計算書
- 67 株式情報
- 68 会社情報

本報告書の位置付け

